

豊丘村に専門家（建築士、宅建士、解体業者）を派遣しました！ ～古民家の処分又は活用を判断するために相談を実施した事例～

●相談内容

明治時代築と言われている古民家（蔵、農業用倉庫付属）を、何とか処分したいと所有者が村役場に相談した案件。村でも同様の古民家が村内に点在しているため、ケーススタディとして活用の有無、解体費用、土地の販売価格等について、各分野の専門家のアドバイスをお願いしました。

●相談状況



【建築士のアドバイス】

現地を確認しながら、建物の活用が可能かどうかのアドバイスをいただく。母屋は、耐震性の検討が必要だが、水廻りを改修すれば十分に住める状態ではないかとのこと。

【宅地建物取引士のアドバイス】

現地の宅地及び農地について、概算の価格査定を依頼。概ねの取引価格を把握し、解体費用に土地処分費を充てることのできるかの基礎資料とします。



【解体工事業者のアドバイス】

建物毎の解体費用について、見積り依頼。建築士のアドバイスを元に解体した方がよいものと残せる建物別に解体費を試算して今後の検討材料とさせていただきました。

